

緑色の葉に鮮やかなピンクが美しく映えます。

< 植物名 >

アンズリウム
アンドレアナム
ピンク・チャンピオン

水やり

夏はたっぷりと水を与え、秋からは控えめにする。

置き場所

5～9月は屋外に、10～4月は暖かい室内に置く。

用土肥料

5～9月にかけて緩効性肥料と薄めの液肥を与える。

植え替え

2年に1度、6～7月頃植え替えをして仕立て直す。

ふやし方

株分け、取り木

冬越し

温度15 以上と湿度を高く保つ。

使い方 鉢植え、ハイドロカルチャー、切花

学名 Anthurium andraeanum

英名 tail flower

属名 ベニウチワ

科名 サトイモ

性状(分類) 多年草(観葉植物)

原産地 熱帯アメリカ

花の色 ピンク(仏炎苞の色)

開花期

購入時期

草丈 30～60cm

ID 173

季節

JFコード 48028



冬越しと置き場所

5～9月は屋外で強い日光の当たらない場所に置く。10～4月は暖かい室内の半日陰やレースのカーテン越しに光が当たる場所に置く。冬越しには温度15 以上と湿度を高く保つことが必要。

その他の解説

5～9月にかけて数回、緩効性肥料を置き肥し、合わせて月に1回くらい薄めの液肥を与える。生長期は多肥を好むが、それ以外の時期の多肥は避ける。2年に1度、6～7月頃植え替えをして仕立て直す。

特徴1

鮮やかなピンク色の仏炎苞と大きな緑色の葉は、革質で光沢があり美しく輝く。夏はたっぷりと水を与え、特に乾燥した時は葉水をするとよい。秋からは乾燥気味にして水やりは控えめにする。ハダニやカイガラムシの発生、ナメクジの食害に注意する。

特徴2

花のように見えるピンクに色づいた部分は仏炎苞という花の付属物で、その中央から棒状に伸びた肉穂花序という部分が小さな花の集まった本当の花にあたる。これはサトイモ科独特の構造である。鮮やかなピンク色の仏炎苞と大きな緑色の葉は、革質で光沢があり、とても華やかな印象。